

平成30年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	村上信親
		全体計画						経費区分		経常的経費		内線	3516
事務事業名	5289 排水機場維持管理事業												
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課												
施 策	06033300 橋や道路整備の推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	060201 農林水産業費・農地費・土地改良事業費											
	事業	070000 排水機場維持管理事業											
事業目的						事業概要・効果							
雨・台風等の豪雨から住民の生命財産を守るための排水機場を維持管理することで安全に暮らせる住環境を提供する。						雨・台風等の豪雨から地域を冠水から守るため、災害時に備えていつでも稼働できる様に管理を行う。							

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
福島排水機場1号機エンジンエア漏れ修繕 相之島排水機場暗渠修繕工事 北相之島主ポンプNo.2駆動用原動機整備工事	福島北排水機場真空ポンプ水漏れ修繕工事 相之島排水機場4号機エンジン用塞止弁交換外工事 福島排水機場揚水ポンプ引き揚げ調査 相之島排水機場3号ポンプエンジン熱交換器修繕工事 相之島排水機場熱交換器外修繕工事
平成29年度 実績	平成30年度 予定
相之島排水機場1号・2号機エンジンD点検及び空気系統整備工事ほか12件 主要施策成果説明書参照	日常的に施設の維持管理を行うとともに、必要な機器の修繕を行う。 相之島第二排水機場4号機ポンプ駆動用機関修繕及び1号空気圧縮機分解整備ほか3件
平成31年度 予定	平成32年度 予定
日常的に施設の維持管理を行うとともに、必要な機器の修繕を行う。	日常的に施設の維持管理を行うとともに、必要な機器の修繕を行う。

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		19,862	29,957
特定財源	国庫支出金	506	253
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	24,000
一般財源		19,356	5,704
人員数(人)	正規職員	0.4	0.3
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,859.6	2,144.7
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,859.6	2,144.7
市民一人当たりの経費		0.4	0.6
総額		22,721.6	32,101.7

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	17,111	消耗品費36・燃料費428・光熱水費2742・修繕料13,905
13節 委託費	956	施設管理業務委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	240	工事改良施設維持管理適正事業費
その他	1,555	通信費940・手数料575・使用料40

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	27,251	消耗品費36、燃料費105、光熱水費2,920、修繕料24,190
13節 委託費	1,166	施設管理業務委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,540	通信費900、手数料598、使用料42

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	災害時に備えて稼働できる様に維持管理することで、安全に暮らせる住環境が提供できる。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	各機場の修繕等は、緊急性・必要性を考慮し、優先順位に改善。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	土地改良施設の改修等については、土地改良施設維持管理適正化事業を有効活用し、コスト縮減を図る。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
排水機場の維持管理、改修工事が予定通り、順調に進んでいる。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

千曲川の増水時に備えるため排水機場の維持管理は重要である。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

集中豪雨・台風等の災害から住民生活を守るため、排水機場の維持管理は重要で、欠かせない。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--